

# ひろしまええとこ通信

題字：東区「うぐいす共同作業所」 山中剛範さん

広島市各区では、様々な取り組みが実施されています。  
広島市各区の“ええとこ”を担当生活支援コーディネーターから報告します！！

## 地域のええとこ紹介コーナー「Wa!それええね!!」

### 中区：サロン研修会を開催しました！

高齢者の誰もが気軽に集い、仲間づくりや介護予防に取り組む「通いの場」の活性化を図るため、現在28団体が「地域高齢者交流サロン・地域介護予防拠点整備促進事業補助金」を活用し、各地区で様々なサロン活動が行われています。活動のマンネリ化に頭を悩ませている運営者の声を聞きます。そこで、令和5年10月13日「サロン運営のヒント」と題して研修会を開催しました。NPO法人ひろしまレクリエーション協会の徳弘副会長と広島市江波地域包括支援センターの上田さんを講師に迎え、当日は11団体23名のサロン世話人の方たちが参加されました。

はじめに中区社協から「サロン開催の意義や目的」をお話ししました。  
上田さんからは、「サロン活動を通じたなじみの関係づくり」についてサロンでの見守り事例を交えて、サロンが自然と見守りの場となっていること、つながりづくりの場となっていることを教えていただきました。



上田さんの講演の様子

徳弘副会長からは、「レクリエーションの目的や意義」、「サロンの場でできる簡単なレクリエーション」について教えていただきました。

隣の人とスキップを取るなどして、会場は非常に盛り上がりました。

レクリエーショングッズの展示もしていただき、「自分たちのサロンにあったら楽しそう」などの声もありました。



徳弘副会長の講演の様子

情報交換の中で体力が低下した参加者への対応やサロン運営費の確保の話が話題になりました。各サロンでの工夫や講師の方たちからアドバイスをもらい、今後の運営について考える時間となりました。



会場の様子

サロンのマンネリ防止のために様々な支援を行っています。  
お気軽に中区社協までお問い合わせください！一緒に考えていきましょう！  
生活支援コーディネーター 和田・島谷



# 南区：区域協議体（地区社協活動拠点交流会）

令和5年10月21日（木）  
南区役所別館 4 階大会議室

14:00～16:00  
参加者数 65 名（うち専門職 18 名）

南区区域協議体では、5 年後、10 年後も安心して住み続けられるまちを目指して、「担い手育成」をテーマに活動中です。

人材難、財政難により介護保険制度による生活支援サービスの大幅な不足が深刻な社会問題となっているなか、何かあった時に相談できる場所が地域にあるという安心感から、地区社協が核となって、生活課題に関する相談を包括的に受けとめる「地区社協活動拠点」等の体制を整備することが期待されています。

また、私たち生活支援コーディネーターは、日ごろ地（学）区社会福祉協議会（以下、地区社協）の拠点を訪問するなかで、地域ならではの特色や工夫を活かしたさまざまな取り組みが次々に生まれていることを実感しています。各地区社協の拠点の運営状況や取り組みについて情報共有をすることで、拠点運営の理解が深まり、地域活動における人材確保につなげることを目的に、『地区社協活動拠点交流会』という形で開催しました。地区社協活動拠点活性化支援事業に取り組んでいる2つの地区社協に活動発表いただきましたので、その一部を紹介します。



## ① 向洋新町地区社会福祉協議会の取り組みの成果



- ・窓口当番のスタッフを毎回、地区社協、老人会、民生委員の各団体から選出することで、団体間やスタッフ間のコミュニケーションが深まり、結束力が生まれた。（1日のスタッフは4名体制）
- ・あらかじめ当番の年間スケジュールを決めているので、スタッフは予定を立てやすい。
- ・相談室の隣に談話室を設けることで、気軽に立ち寄る住民が増えた。
- ・横断幕や掲示板で広報したことで、地区社協拠点の周知ができた。
- ・実際にあった相談には、地域包括支援センター⇒かかりつけ精神科医につながり終結した好事例ができた。

## ② 大河地区社会福祉協議会の工夫点・強み

- ・拠点に「町内会連絡ボックス」を設置したことにより、町内会長との情報交換の機会が増えた。また、配布の負担軽減にも繋がっている。
- ・地域の薬局や訪問看護ステーションの協力により、毎月健康相談会を開催することで拠点に気軽に立ち寄る方が増えた。
- ・困りごと相談の受け入れ先として「大河ボランティアバンク ひまわり」が機能しており、3か月ごとに交流会を開催し、支援の振り返りや福祉の知識を深めるための勉強会を行い、スキルアップをしている。
- ・広報紙を全戸配布することで周知され、問い合わせが増えている。



協議体開催にあたり、各地区社協の活動拠点の情報や取り組みについて掲載した冊子を作成しました。広報チラシなども載せています。今後の拠点運営に役立てていただければ幸いです。



地域のみなさんに関心を持っていただける協議体を開催することに注力しました。初めて協議体に参加した拠点スタッフもおられ、協議体を認識していただく機会の創出にもなりました。

生活支援コーディネーター 黒瀬・岡崎





## 西区：ボランティアバンク再始動!! (古田学区社会福祉協議会)

令和5年10月から古田学区にて、地域の困りごとをお手伝いするボランティアバンクの活動が再始動しました。団体名は「古田かけつけ隊」です!!

古田学区にお住いの高齢者の方々のちょっとしたお困りごとに駆けつけたいという思いから、メンバーで話し合いを行い、決定しました。

「古田かけつけ隊」のメンバーは、令和4年度に古田公民館で開催した担い手養成講座の参加者を中心に結成されました。

メンバーの皆さんは、この担い手養成講座で助け合いゲームを体験し、地域での生活支援の必要性を学びました。

また、実際に生活支援を行っている安佐南区安東学区社会福祉協議会の取り組みを聞くなど、3回の講座を通して、古田学区で困りごと支援を行う団体の立ち上げの検討や、自分達にはどのようなことができるのか、ということをお互い考えていきました。



助け合いゲーム体験中



珈琲を飲みながら打ち合わせ

講座終了後は、メンバーで古田学区ボランティアバンクの再始動に向けての話し合いを毎月1回重ねてきました。現在の登録メンバーは、15名(10月時点)。

活動内容、利用料金、活動範囲、対象、実際に依頼を受けてから活動までの流れ等、古田学区社協の活動拠点にて話し合いを行いました。

この話し合いには、古田地域包括支援センター、西区社協も参加し、活動が円滑に進むように専門職の意見も参考にしてくださっています。

月1回の会議以外にも、SNSを活用しメンバーと専門職を含めたグループを作成しており、活動依頼はもちろん、メンバーといつでも連絡がとれるようにしています。



メンバーの皆さんで話し合いを行い作成したチラシです。

依頼を受けるにあたってお伝えしたい事はたくさんあるのですが、困りごと支援が必要な方に伝わり、なるべく分かりやすく読んでもらえるよう文字を少なくするなど、工夫されています。

地元の高齢者が住みよい地域になるように「古田かけつけ隊」が一役買うことが出来ればと思っています。自分達のこれまでの経験も活かしながら、できる範囲で楽しく活動していきたいです。

古田かけつけ隊  
井上さん



古田の地域にお住いの方々のために、「自分達でできることならまあ、やってみようや」という、よりよい活動を作っていく気持ちを私も応援しています。

皆さまのペースで少しずつでも、「古田かけつけ隊」の活動を地域に広げていきましょう!

生活支援コーディネーター



# 令和5年度 広島市住民主体型生活支援訪問サービス 専門職研修会を開催しました！

「広島市住民主体型生活支援訪問サービス」とは、「介護予防・日常生活支援総合事業」（介護保険）で実施する訪問型サービスの一つです。令和5年10月から新たに1団体が実施団体として加わり、市内41団体が本サービスに取り組み、地域に暮らす高齢者の「ちょっとした困りごと」の支援をしています。

この事業は実施団体と専門職（地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネージャーなど）が連携を図りながら、支援をするところに特徴があります。

実施団体のみなさんがより活動しやすくするためには、専門職側の事業理解や現状把握が必須です。その一助になればと、専門職向けの研修会を10月27日（金）にオンラインで開催しました。

研修会では、幟町地域包括支援センター 榎林さん、庚午地域包括支援センター 松田センター長、西区社協 三角生活支援コーディネーターに実施団体との連携など、お話いただきました。実施団体と専門職が協議を重ね、必要とされる方への支援につなげている様子等、参考になることばかりでした。ありがとうございました！

引き続き、地域の助け合い活動がさらに広がっていくよう支援してきます。



80名を超えるご参加がありました！（^^）！  
写真は、研修会中の一コマです。

令和6年1月30日（火）に  
実施団体研修会・交流会を  
開催予定です♪



## 新規実施団体紹介！

10月1日よりスタート！  
古市学区社会福祉協議会（安佐南区）



## <各地で実践されている“ええところ”をお寄せください！>

地域活動に関する耳寄りな情報を教えていただき、定期的に発信していくことで、「ひろしまのええところ」をみんなで共有できる情報紙を目指します。耳寄り情報は、市・区社協にいる生活支援コーディネーターへご連絡ください！

発行：社会福祉法人広島市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域共生係  
〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター内  
TEL：082-236-6172 FAX：082-264-6413  
Eメール：kyousei@shakyohiroshima-city.or.jp

